

令和七年度 個別学力試験問題

(後期日程)

小論文問題

(一二〇分)

人文学類

注意

- 一、指示があるまで問題用紙を開かないこと。
- 二、解答は設問ごとに別々の用紙を用いること。
- 三、解答用紙の上部の空欄に、設問の番号を書くこと。
- 四、解答用紙と下書き用紙は、はじめに切り離すこと。
- 五、解答は横書きで記入すること。

問題文は次のページからはじまります。

以下の文章を読み、各問に答えなさい。

(問1) 著者は、「日常会話」という「通路」から、社会や文化をどのように議論できると考えているか説明しなさい。(八百字以内)

(問2) あなたが学ぼうとする人文学の学問とその特色は、どのようなものか、著者の考え方を批評しながら論じなさい。(八百字以内)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(菅原和孝〔著〕、『会話の人類学』より)